

おはようございます。いよいよ今日から二学期が始まります。皆さんは、夏休みをどのように過ごしましたか。

今年は、全国高等学校総合文化祭が 30 数年ぶりに「かがわ総文祭 2025」として、香川県で開催されました。本校からも多くの生徒が部門委員や補助員として参加しました。また、それぞれの会場では、会場を彩る飾花のプランターを本校の植物科学科が製作し設置しました。農業クラブでは、本校 3 年生のプロジェクト発表が県大会で最優秀賞となり、四国大会へ出場しました。華道部は、全国高校生花いけバトル香川大会において、準優勝となりました。3 年生は夏休みでも登校し、就職や進学のための学習を頑張ってくれています。笠田高校の生徒が、夏休みの間でもこのようにいろいろな場面で活躍していることをとても嬉しく思っています。

私も今年の夏休みは、「劔岳登頂を成功させる」という夢をかなえることができました。皆さんにはその経験を通じて考えたことを紹介したいと思います。

劔岳は富山県にある飛騨山脈の北部にあり、登頂するのは日本で一番難しいと言われる険しい岩の山です。昔の人は、劔岳を「地獄の針山」として絵に表現するほどでした。

きっかけは、「劔岳 点の記」という本を読んだことでした。明治時代、日本地図を完成させるために、誰も登ったことのない険しい劔岳の登山に挑んだ測量隊の実話です。その登山は、命をかけるほどの厳しいものでした。道はなく、切り立つ岩や雪があり、暴風や雪崩などの厳しい気象条件と闘う必要がありました。それでもあきらめず、一步一步登っていきました。「人類初登頂」という名誉より、ただただ「日本地図を完成させたい」という強い使命感があったからです。

そんな山に私もチャレンジしたい。と思っていたところ、今年そのチャンスがありました。歩いた距離は 15.3km、登った高さは 1.9km。ここから本山駅までを高さにしたより少し高いくらいです。2 泊 3 日で 22 時間かけて歩きました。

明治時代に比べ、手すりとなる鎖が設置されるなど登山道はある程度整備されてはいるものの、断崖絶壁の岩を登っていくので、一歩足を滑らしたら大きな事故につながると思います、とても緊張しました。無事に登頂し、下山できたときは、測量隊の苦労には足元にも及びませんが、それでも達成したという思いで一杯でした。

私自身、この物語のどこにひかれたのかというと、自分に与えられた使命を、努力を重ね全うしていく測量隊のひたむきさです。そして、この努力が成長につながっていました。種明かしになるので、最後まではいませんが、実はこの測量隊が劔岳山頂に到着した時、

驚くべき事実がわかります。そのような中でも自分の職務に忠実であった測量隊の誠実さは周りから認められました。このお話を次世代に残さなければと、小説にした作者の熱い思いも伝わってきました。

さて、皆さん、私は「ひたむきに努力をすることで成長につながる。何事にも誠実であることは人から信頼されること。熱意は人の心を動かすこと。」についてお話をしました。まさに、これは本校の校訓である「至誠・慈愛・勤労・剛健・自律」であると言えます。2学期、皆さんは何を目標に高校生活を送りますか。何も考えていない人は、まずは目の前にある自分にできる小さなことに、一つひとつ努力を重ねてみてください。その先に、きっと見えてくるものがあるはずです。2学期も皆さんが学びを深め、明るく元気に学校生活を送ってくれること願い、式辞といたします。

令和七年九月一日